

2025年度 兵庫教区実践運動 各組重点プロジェクト取組事例

—御同朋の社会をめざす運動（実践運動）兵庫教区委員会—

はじめに

本資料は、各組で実施された重点プロジェクトの取り組みを共有し、今後の実践運動の参考としていただくことを目的として作成したものです。

各組においては、それぞれの地域事情や課題に応じて、多様な取り組みが行われています。本資料を通して他組の実践事例を知り、それぞれの地域における活動のヒントとしていただければ幸いです。

兵庫教区 各組重点プロジェクト達成目標

組名	達成目標
1 阪神東組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ —子どもたちを育むために— 「世界平和のためのお布施」 ①貧困問題や子どもたちの問題等に関わる活動を行っている団体との情報共有・ネットワーク作り ②重点プロジェクトに関する情報共有・発信にも活用可能な、時代に即した組内のウェブ環境の整備・拡充
2 阪神南組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ —子どもたちを育むために— ①心の貧困について問題提起 実践目標(2)：これからの浄土真宗はどうあゆむべきか ～地域社会の人とお寺～
3 阪神西組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ —子どもたちを育むために— 貧困問題についての学びを深め、共に出来ることを考え実践していく（SDGs） 実践目標(2)：御同朋の社会の実現 一人一人が大切にされる社会、一人一人が大切に作る社会の実現
4 阪神北組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ —子どもたちを育むために— 貧困問題についての学び 現状の理解と寺院の役割
5 神戸東組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ —子どもたちを育むために— 常にわがみをふりかえる阿弥陀如来のお心を鏡とする ①災害支援：被災体験からともに歩む ②僧侶の意識改革：イノベーション、今こそ ③キッズサンガ：お寺から子どもの声がする
6 神戸中組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ —子どもたちを育むために—

		<p>貧困は金銭的なものに限らず孤独等の心の貧困もある、その子どもたちの為に、お寺のみならず地域で取り組む</p> <p>実践目標(2)：災害における寺院の活用について</p>
7	神戸湊組	<p>実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために–</p> <p>①戦後 80 年を迎える新たな歩みを組内・各寺院で</p>
8	神戸西組	<p>実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために–</p> <p>①お寺おやつクラブ（ワンコインそえて）</p>
9	北 摂組	<p>実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために–</p> <p>①地域の貧困家庭への支援、及び地域のつながりの強化</p> <p>実践目標(2)：寺院と門徒さんとの結びつき強化、及びそれに伴う災害義援金活動</p> <p>②寺院住職だけでなく門徒さんを交えた活動を行う</p>
10	神 明組	<p>実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために–</p> <p>実践目標(2)：御同朋の社会の実現</p>
11	淡 路組	<p>実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために–</p> <p>① 貧困問題についての学びを深める</p> <p>② 組内における貧困の状況と寺院及門徒の活動状況の把握に努める</p> <p>実践目標(2)：いのちに寄り添う傾聴のこころを大切にする</p> <p>①平和・環境・人権等、いのちに関わる諸問題の学びを深める</p> <p>②組、寺院、門徒の諸問題における傾聴のこころを大切にする</p>
12	播磨東組	<p>実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために–</p> <p>①国内では、「子ども達を育む為に何が必要か」の観点から『子どもの安全・安心の確保』に重点を置き、『人の目の垣根隊』として子ども達の登下校に寄り添う</p> <p>②国外では、NPO 法人ラリグラス『ネパール支援』に協力し、ネパール・カトマンズ「就学支援部金」を各総会・研修会時に呼びかける。又、各寺院に於いても参拝者に協力を願う</p>
13	播磨中組	<p>実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために–</p> <p>①実践目標について、組内僧侶・門信徒に周知し、組として取り組むべき課題を検討する。</p> <p>②組の行事においてワンコインダーナを実施する。</p> <p>③キッズサンガの継続実施とともに、実践目標との関連を強化する内容を検討する。</p>
14	多 可組	<p>実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために–</p> <p>各種行事等において貧困対策募金活動をする</p> <p>実践目標(2)：寺院の活性化</p> <p>門徒戸数の減る中、お参りを増やす</p>
15	加古川組	<p>実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために–</p> <p>①持続可能な寺院活動の実現に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ●貧困問題について学ぶ ●子どもの居場所づくりーキッズサンガの開催ー

		<ul style="list-style-type: none"> ●人口縮小時代の寺院活動を考える ②御同朋の社会の実現に向けて ●人権問題への学びを考える ●自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現
16	高砂組	<p>実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために–</p> <ul style="list-style-type: none"> ①貧困問題の学びを深めるための学習会の開催 ②お寺で取り組む「子どもの居場所（スペース）」づくり ① 市内子ども食堂の実態把握 <p>実践目標(2)：防災、災害時の支援整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 防災、災害時の支援のための組単独の見舞金支給制度を充実させる <p>実践目標(3)：新たにご縁を頂く門信徒、従前からの門信徒への正しい伝道のための啓発パンフレットを発行する</p> <ul style="list-style-type: none"> ①啓発パンフレットの素案を検討し発行する
17	神崎組	<p>実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために–</p> <ul style="list-style-type: none"> ①貧困問題について学びを深めるための学習会 ②貧困問題にかかわる宗教者としての実践運動 ③子どもたちを育むために「子ども・若者ご縁づくり」活動の推進
18	神姫組	<p>実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために–</p> <p>出来る事から始めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ①貧困の現状を知る ②ホームレスへの支援の具体的取り組み
19	姫路東組	<p>実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために–</p> <p>社会変化に伴い生活の個・孤人化が進むなか、子どもをはじめとする弱者への目配りやその場所づくりをお寺が中心となって行っていくために、学びから準備・実践へと推進していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ①そもそも「貧困問題」とは？「お寺」に何ができるのか？ ②「お寺」で取り組む「子ども（弱者）たちの居場所」づくり ③「居場所」案内の作成と実働及び掲示伝道による啓発活動
20	姫路南組	<p>実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために–</p>
21	姫路中組	<p>実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために–</p>
22	姫路西組	<p>実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために–</p> <p>組活動の立て直しと活性化（組内全寺院の参画をめざして）コロナウイルス感染拡大に伴い中止等余儀なくされた活動の再開と従前の活動より更なる飛躍をめざして</p>
23	網干組	<p>実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために–</p> <p>全寺院参加で協力し合える組活動推進</p> <p>実践目標(2)：組内寺院の協力関係強化 組活動推進</p>
24	揖龍東組	<p>実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために–</p>

		実践目標(2)：立教開宗 800 年を契機に浄土真宗の未来を探る 立教開宗 800 年を契機に 10 年後 20 年後の僧侶像寺院像を模索する。
25	揖龍西組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために– 実践目標(2)：三部会による活気ある寺院活動の実施 ①社会対応部・活動テーマ【いのちの尊さにめざめる】 ②門徒推進部・活動テーマ【人材育成に取り組む】 ③寺院活性部・活動テーマ【子ども若者ご縁づくり】
26	新 宮組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために– 近隣の子供達への支援活動を調査し、協力できることを具体化し、寺院として継続支援できる方策を実線する
27	赤穂南組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために– ①子どもたちの笑顔のための募金への募金活動 ②学習会・研修会の実施 ③子どもたちが楽しめる催しの実施
28	赤穂北組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために– 実践目標(2)：親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年を機縁として浄土真宗の明日を考える 深まるご縁を
29	穴 栗組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために– ①子ども居場所作り 実践目標(2)：葬送儀礼 ①葬儀の本質が見失われつつあるなか、葬儀が仏法と出会うご縁を進める 実践目標(3)：聞法のつどい ①門信徒の皆様にご縁を深める法座の開催
30	佐 用組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために– ①貧困問題についての学びを深める ②組内寺院での貧困問題についての取り組みをとりまとめ、検討を加えて、以後の組活動へつなげる。 ③フードバンク・フードドライブ・子ども食堂への協賛 ④さまざまな差別事象を通して学習を深める。 ⑤災害対応、災害支援活動
31	多 紀組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために– 実践目標(2)：多紀組 御同朋の集いを実施
32	氷上東組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ –子どもたちを育むために– 丹波市内から貧困の克服に取り組む ※保護司・民生委員との連携しパイプ役を担う 実践目標(2)：障害者支援施設と連携を図り、施設が起案するフェスティバル等に積極的に寺院や門徒が関わる

		自他共に周辺地域の社会意識の偏見を取り除く事により、互いに支え合って共に生きていく
33	氷上西組	実践目標(2)：同朋講座の開催 実践目標(3)：お寺の垣根を越えて子どもたちを育む（キッズサンガの実施） 実践目標(4)：門徒戸数の減る中、過疎地における寺院のあり方
34	朝 来組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ -子どもたちを育むために- 社会変化に伴い弱者であるこどもの居場所がなくなっている。そんなこども達の居場所をお寺提供する
35	養 父組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ -子どもたちを育むために- ①住職研修、総代等研修、坊守等研修を再開し、重点プロジェクトを推進する ②ネットを利用した組内の連絡手段を作る
36	出 石組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ -子どもたちを育むために- 実践目標(2)：過疎化における持続可能な寺院を考える研修会 現状把握と危機意識の共有
37	城 崎組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ -子どもたちを育むために- ①「貧困の克服に向けて」という課題に対して積極的な取り組みを実施する ②合同研修会を開催し僧侶・門信徒が意義と課題を共有し教化伝道に努める
38	岡山南組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ -子どもたちを育むために- 子ども食堂の活動に参加協力することによって、子どもの貧困問題についての知識を得るとともに、貧困問題を抱える家庭への具体的対策を行う
39	岡山北組	実践目標(1)：貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～ -子どもたちを育むために- ①貧困問題についての学びを深める ②子ども達のための募金活動および組内フードバンクへの寄付

各組の取り組み

1 神戸湊組

平和について学ぶ講演会の開催

戦後 80 年を迎える年にあたり、平和について考える学びの場として講演会を開催し、神戸別院を会場に講師を招き、被爆体験や平和への願いについての講演を聞いた。組内寺院の住職や寺族などが参加し、戦争や平和の問題について理解を深めた。

2 北摂組

聞法のつどいの開催

寺院と門徒との結びつきの強化を目的として、組内寺院において「聞法のつどい」を開催した。組内住職による法話を通して、宗教観や仏教の教えについて学ぶ機会とした。当日は門徒も参加し、法話後には質疑応答や感想のやりとりが行われた。

3 神明組

「子どもたちの笑顔のために募金」への協力

社会問題に目を向けた取り組みの一環として、「子どもたちの笑顔のために募金」への協力を行った。組内研修会の場に募金箱を設置し、参加者の協力のもと募金を募った。集まった募金は、「子どもたちの笑顔のために募金」として寄付した。

4 播磨東組

子ども食堂支援の取り組み

子ども支援活動の一環として、組内寺院と協力して子ども食堂支援のための募金活動に取り組んだ。昨年度までの海外支援に代わり、地域の子どもの食堂を支える取り組みとして実施した。組内寺院や教区団体の協力のもと募金を行い、子ども食堂への支援を行った。

5 加古川組

子ども食堂について学ぶ研修会の開催

子ども支援活動の一環として、子ども食堂の現状や課題について学ぶ研修会を開催した。講師を招き、子ども食堂の取り組みや地域における支援のあり方について話を聞いた。研修には組内寺院の住職・寺族などが参加し、子ども支援の現状について理解を深めた。

6 姫路西組

組活動の再活性化に向けた学びの場

組活動の再活性化を目的として研修会を開催し、実践運動の基本的な考え方について学習を行った。研修では、全国の各組・各寺院の取り組みについて学びを深め、組としての活動の方向性について話し合いを行った。

7 赤穂南組

募金活動と平和学習の取り組み

子どもたちの笑顔のための募金の取り組みとして、寺院に募金箱を設置し、年間を通して募金活動を行った。集まった募金は宗派へ送金され、支援活動に活用された。また、門信徒を対象に平和をテーマとした映画上映会を開催し、非戦・平和問題について考える学習の機会を設けた。

8 宍粟組

聞法のつどいの開催

重点プロジェクトとして「聞法のつどい」を開催し、組内寺院が協力して聞法の場を設けた。当日は、組内法中によるお勤めに続き、法話と仏教讃歌を通して仏法にふれる機会とした。多くの門信徒が参加

し、仏法を聞くご縁をともにする場となった。

9 養父組

住職・総代・坊守研修の再開

住職研修、総代研修、坊守研修を再開し、組としての学びの機会を設けた。研修では実践運動の趣旨の学習や法話などを通して、僧侶・寺族・門信徒がともに学ぶ機会となった。また、LINE を活用した組内連絡体制を整備し、組内寺院の情報共有を進めている。

10 出石組

過疎地域寺院の課題を学ぶ研修会

宗派寺院活動支援部の職員を講師に迎え、過疎地域における寺院活動の現状について学ぶ研修会を開催した。研修では、宗門の過疎対策や寺院支援制度などについて説明を受け、組内寺院で理解を深めた。研修は対面とオンラインを併用して実施され、組内寺院が参加し、過疎地域寺院の課題を共有する機会となった。

11 岡山南組

子ども食堂支援の取り組み

子ども支援活動の一環として、地域で長年活動されている「うのっこ食堂」の取り組みについて学ぶ研修会を開催した。研修では、子ども食堂の活動内容や支援の現状について説明を受け、寺院としてどのような支援が可能かについて意見交換を行った。その後、実際に子ども食堂を訪問し、支援金を届けるなどの支援活動を行った。

12 岡山北組

フードバンク活動を通じた子ども支援

地域のフードバンク団体「オレンジハート」の代表を招き、フードバンクの活動内容や子ども支援の現状について学ぶ講演会を開催した。講演では、子どもたちを支える活動の実際や寺院としてどのような関わりが可能かについて話を聞き、組内寺院での理解を深めた。また、寺院への募金呼びかけとあわせてフードバンクの活用についても呼びかけを行った。

教区における取り組みの特徴

①研修型

組研修会や学習会を通して、実践運動の理解を深める取り組み。
組内寺院の情報共有や学びの場として多くの組で実施されている。

②社会課題型

平和学習や子ども支援など、社会課題に向き合う活動。
門信徒とともに学ぶ機会を設けることで、地域社会との関わりを深めている。

③組連携型

組内寺院の連絡体制の整備や情報共有など、組の連携強化を図る取り組み。
LINEなどのツールを活用しながら組活動の活性化を進めている。

今後について

各組においては、それぞれの地域事情や課題を踏まえながら、今後も重点プロジェクトの取り組みが進められることが期待されます。

本資料が、各組における今後の活動の参考となり、教区全体の実践運動の推進につながることを願っています。